

令和3年 第10回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

令和3年8月20日（金）

令和3年 第10回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 令和3年8月20日（金） 午後3時30分～
- 2 場所 小林市役所 第1別館 大会議室
- 3 出席委員 中屋敷史生 大部菌智子 榎光子 淵上定一郎 廣崎真美
- 4 参与職員 押川逸夫 園田恵津子 根井 清 谷山宏志 松元公孝 小久保圭子
(調製職員) 今西敦子

5 会議内容

開会 15:30

中屋敷教育長 ただいまより、令和3年8月13日付小林市教育委員会告示第12号で招集されました令和3年第10回小林市教育委員会定例会を開催したいと思います。

まず、報告案件が1件あります。

報告第10号、令和3年成人式の中止について、説明をお願いします。

谷山社会教育課長 それでは2ページをご覧ください。教育委員の皆様には先だっでご連絡差し上げていたところですが、8月14日に開催を予定しておりました令和3年成人式につきまして、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染爆発、それから、宮崎県内におきましても、感染急増圏域が指定されて、その他県下全域にも感染拡大緊急警報が発令されたことによりまして、やむなく中止とさせて頂いたところでございます。

それに関わる市民への周知としましては、案内状を送付した対象者479名に中止のはがきを送付しまして、今回、登録制で開催する予定でしたので、参加の登録をされていた184名にメールで中止の報告をさせて頂いたところでは、市ホームページ等で周知をさせて頂いております。

それから、今後ですけれども、主催者、来賓の皆様、市民の方々からお祝いメッセージなどを録画させて頂いて、その内容を成人式実行委員会、地方創生課、教育委員会で編集しまして、市の公式YouTubeに掲載させて頂いたこうと思っております。

内容に関しましては、ただメッセージだけを順番に流していくよりも、い

ろんな工夫をして、見たいと思われるような内容にしていきたいと思っています。また、市議会議員の皆様にもご協力頂いてメッセージを頂くことになっております。

それから、来週には実行委員会、地方創生課と打ち合わせをしまして、内容の確認をさせていただいて、作り上げていきたいと考えております。以上で報告を終わります。

中屋敷教育長 お聞きのとおりですけれども、何かご質問等はありませんか。

大部 蘭教育長職務代理者 中止を決定したということで、何かご意見がありましたでしょうか。

谷山社会教育課長 中止に対するご意見はありませんが、1件だけ、成人式該当の方から、メールで中止はやむを得ないですけど、できればみんなと会って話があったかというご意見を頂いております。それ以外は中止に関わるご意見等は頂いておりません。

中屋敷教育長 他にありませんでしょうか。この件で一番危惧したのは、実行委員の人達が、今までずっと開催に向けて話を詰めてきて、最後に中止という形になったので、その慰労も含めて、何らかの形で市長と会ってご苦労さまでしたという場を設定したらどうかということで、今、ちょっと考えてはいます。一番ショックだったのは、本人達だと思っています。

それでは、報告を終わりました、議案のほうに入りたいと思います。

議案第34号、市議会定例会（9月議会）の議決を経るべき議案の原案の承認について、説明をお願いします。

園田学校教育課長 議案第34号について説明させていただきます。4ページをお開き下さい。

令和3年市議会定例会（9月議会）の議決を経るべき議案の原案について、承認を求めるものでございます。こちらに掲載しておりますとおり、学校教育課から補正予算として10件計上しております。

まず1行目の事務局管理費50万円でございます。こちらは学校の美化活動で出た草や落ち葉、剪定後の枝等について廃棄する場所がなく、腐葉土の状態です。学校敷地内に放置されている学校があったため、早急に廃棄する必要があります。当初の廃棄物処理手数料の予算に不足が生じるため、

計上するものでございます。

続きまして、2行目の学校図書館教育推進事業費80万円でございます。学校図書館で使用している図書管理ソフトのアップグレードを行いまして、学校図書館の充実と職員の業務負担軽減を図るものでございます。財源につきましましては、全額寄附金を活用する予定としております。

続きまして、3行目の次世代の子どもを育む学校指導体制推進事業費48万5千円でございます。こちらは県の地域部活動推進事業の実践モデルとして小林市が選定されておまして、今年度、中学校における部活動の段階的な地域移行にかかる事項の検討を行っていくこととしておりますけれども、国の事業認可、それから、県との委託契約の結果、その事業費の内訳、それから合計額が当初の予算額から見直されたものでございます。財源につきましましては、全額県の委託金を活用する予定としております。

続きまして、4行目の小学校管理費300万円、7行目の中学校管理費250万円でございます。こちらは、市内学校の教室に設置しております大型扇風機の部品が落下したことによりまして、児童生徒がけがをするおそれがあったため、早急に点検と修繕を行う必要があったことにより計上するものでございます。また、他市の学校敷地内の防球ネットの木柱が折れて児童が死亡、重傷を負う事故が発生したことによりまして、小林市内の学校でも点検を行いまして、木柱撤去等が必要となったことや、施設老朽化による修繕料が不足するため計上するものでございます。

続きまして5行目の小学校ICT教育推進事業費2千20万9千円、8行目の中学校ICT教育推進事業費978万1千円でございます。こちらは学校でのタブレット型パソコンで使用する学習支援ソフトの機能拡張とフィルタリング機能を追加するもので国の臨時交付金を活用して予算要求するものでございます。

続きまして、6行目の小学校教育振興費（臨時）、9行目の中学校教育振興費（臨時）でございます。こちらは、予算要求額が0円となっておりますけれども、今年度、子どもたちの教育のためにと寄付金をいただきましたので、学校の教材費等に充てるため、財源を一般財源から特定財源へ振り替えするものでございます。

続きまして10行目、学校保健管理事業費35万円でございます。こちらはフッ化物洗口の市内全小・中学校の実施に伴う消耗品費が当初の見込みより増えたため、計上するものでございます。学校教育課の説明は以上でございます。

松元スポーツ振興課長 スポーツ振興課です。5ページになります。

まず、スポーツ推進事業費についてですが、これについては、高等学校の全国大会出場負担金ということで、秀峰高校の男子ハンドボール部、ウエイトリフティング部の全国大会出場への負担金を、西諸3市町で負担割合によって負担金を計上するものです。

2段目の都市公園スポーツ施設整備事業費については、陸上競技場に昨年度から繰越事業で写真判定機を導入したのですが、それに連結できるフィニッシュタイマー、記録が出たときに一緒に写真を撮ったりするものですが、それを整備するもの、また、運動公園にある野球場の点数板横の時計の修繕です。この2点を行うものになります。

3段目の学校給食センター管理事業費から、4段、5段目の野尻学校給食センター管理事業費（臨時）までは、当初県の補助金で計上していたものが、国の補助に変わりましたので、それに伴って財源を振り替えるものがあります。

下から2段目のてなんど小林学校給食応援事業費は、給食費の1/2を補助するものでありますが、予算としては0円ですが、財源が未来まち創生基金、ふるさと納税を原資とする基金によって全額あげていたのですが、むたホームから、指定寄付金がありまして、その分を100万円充てるといことで財源の組み替えであります。

最後の県産農畜水産物応援消費推進事業費は学校給食でコロナで落ち込んでいる牛肉の消費等の消費拡大ということ、県から県産牛肉の提供があるものを、小・中学校の給食で3回程度にわけて提供していこうとするものであります。以上です。

中屋敷教育長 ご質問等はないでしょうか。

淵上委員 学校教育課の事務局管理費でおっしゃられました、学校での奉仕作業等をしたときのゴミだと思いますが、去年のPTA会長の集まる会議の中でも

話題になりました。町部の学校では奉仕作業した後の草木などを処分するところがないということでした。

農家や建設業があるところなんかは、そこに協力いただいて捨てているところもあるのですが、そういうところがない学校は捨てるところがなくて困っているということでした。

市の処分場が日曜にやっていないのですかね。奉仕作業は日曜日とかにやるので、処分場に捨てさせてもらえるといいのだけどという話が出ていました。実際そうだと思います。

今後もずっとこの問題は出てくると思います。奉仕作業は各学校にまかせられていると思いますので、いったん整理した方がいいと思います。

園田学校教育課長 おっしゃられたように、奉仕活動で出たゴミが溜まっているということで、昨年度はコロナの影響でなかなか捨てる機会がなく、溜まってしまった状況にあるということだと思います。

本年度、生活環境課とも話をしまして、奉仕作業や美化活動で出た木、枝等はきちんと分別して、その都度連絡して持って行けば回収していただけるようになっておりますので、学校にも周知をしていきたいと考えております。それができれば今のように溜まることもないと考えております。

淵上委員 来年度からですか。

園田学校教育課長 今年度も分別して事前に生活環境課と調整をして持っていけば、回収してもらえるようになっています。学校と連絡をしながら日程を合わせたりしていかないといけないと考えております。

淵上委員 全学校に周知するということですけど、おそらく、今後奉仕活動で出たものは分別して処分場に持っていくとなると、どここの学校も相当な量が出ますので、結構費用が掛かるだろうという気がします。難しい問題ではないかと思えます。父兄の中でやっていけるところはやっていますが、父兄に甘えるのもどうかということで、市でお願いしますとなると結構な量になるので予算も相当かかるものではないかと思えますので、整理してやって頂きたいと思えます。

中屋敷教育長 これは一端預かって、次回の定例教育委員会で整理したものをお示しして、学校へも通知をしていくという手続きでいいのではないのでしょうか。

園田学校教育課長 わかりました。

中屋敷教育長 去年か一昨年だったか、処分場に捨てる際のごみのサイズが決まっているのですが、どこかの学校がそのサイズを無視して捨てに行って、教育委員会にクレームがきたことがありました。だから、しっかりやっておかないと、受ける方も嫌な気持ちになります。ルール決めをしっかりとやっていかないといけないと思います。

廣崎委員 今回の話の続きなのですが、三松小学校の今年度の1回目の美化作業の際に、北清のコンテナ車がきました。学校教育課からの提案でと聞いております。

園田学校教育課長 処分できないゴミが溜まっているということで、こちらの予算から支出しておりまして、不足が生じるということで今回の予算を計上しております。

廣崎委員 用務員がとった草や木枝、あと植木鉢をひっくり返したものなどが腐葉土になっていて、そのほか中途半端なものがあり処分に困っていました。美化作業ででたゴミについては、サイズに切って捨てたのですが、処分に困っていた中途半端なゴミについては、北清のコンテナに入れて処分したところです。きっちりしたものがあれば大変助かるなと思います。よろしくをお願いします。

中屋敷教育長 この奉仕作業は大体運動会、体育大会前にすることが多いと思うのですが、今からですか。

淵上委員 もちろん運動会前にもやりますけれども、もっと頻度的にはあります。全体で3、4回ぐらいはやります。それ以外にもそれぞれの環境整備部みたいなところで月1回とか短いペースでやっていますので、実際にそれででたゴミを全部ということになると結構な量になるのかなと思います。

中屋敷教育長 それも含めて実態を把握して、いつアナウンスするかで決まるので、どうしたらいいか検討しないといけないですね。よろしいですか。(はい)他にないでしょうか。

大部園教育長職務代理者 ICT教育推進事業費についてですが、先ほどの説明で新しいソフトがついたということで、ソフト自体高額だと思うのですが、大体いくらぐらいするのでしょうか。わかればいいのですが。

園田学校教育課長 タブレット1台について8千円位になりますので、小学校だけでも

2千万円程度、中学校が980万円程度になります。

中屋敷教育長 よろしいでしょうか。なければ、お諮りしたいと思います。

議案第34号については、原案どおり承認してよろしいでしょうか。(はい) ありがとうございます。承認されました。

続きまして、議案第35号、令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について、説明をお願いします。

押川教育部長 6ページでございます。議案第35号、令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について教育委員会の同意を求めらるものでございます。

これにつきましては、あらかじめ評価報告書を委員の皆様にお配りさせていただいております、本日ご質問やご意見を伺いたいと思います。

それから、昨年度の評価の際に、評価の基準ですとか客観的になっていないというようなご指摘がございましたので、事務局で検討は行ったところですが、これについては、一昨年様式のリニューアルを行いまして、それをまた、リニューアルをしたほうがいいのかどうかも含めて、他市の様式等も公表されておりますので、今研究しているところでございますけれども、今年度については昨年度と同じ様式になっております。

今後、評価についても客観的に分かりやすいものにしていきたいと思っておりますので、今年度については昨年度同様の形での評価をお願いしたいと思っております。

中屋敷教育長 それでは、報告書をご覧になって、気づかれことを言っていただければありがたいと思います。

廣崎委員 14ページの図書の数なのですけども、図書館支援員が少なくなっていて、1人の方が複数の学校を掛け持ちしている現状と聞いております。それで十分にまかなえるのかということ、実際に支援員をされている方から伺っています。

それと、図書の貸出冊数とかで子どもたちの読書が進んでいるような感覚を受けがちなのですが、子どもたちは先生がたくさん借りなさいと、クラスで競うようなこともあって、とりあえず借りては来るけれども、持って帰って読まないでそのまま返すということもあるようです。それでは読解

力もつかないのではないかと思います。ですので、基本的に本に興味を持つような、読みたいと思わせるような取り組みをしてほしいと思います。読み聞かせをしながら感じているところです。

17ページですが、スクールカウンセラーとか支援を必要とする子どもたちが増えている中で、教育委員になって、楨委員のお話などを伺う中で、こういう子どもたちは信頼関係を築くことが重要になるということを感じています。カウンセラーの先生に話を聞いていただく機会もあるので、よくわかるのですが、中にはお話を聞いてもらえる機会がなくて、悩んでいる方もいらっしゃるのではないかと思います。話を聞いてもらえるようにもっとたくさんいるといいと思います。人員の確保についても触れられているのですが、もちろん専門的な知識なども必要なのでしょうけれども、固定して安心して話せる相手が子どもたちには必要なのかなと思いましたので、養成できるような仕組みがあると、私自身も参加してみたいと思いました。

園田学校教育課長 ご意見ありがとうございます。まず、14ページの学校図書協力員ですけれども、今、こちらを学校図書館支援センターに委託してお願いしております。令和2年度は9名の方に、県の事業から1名、学校で契約している方が1名ということで、11名体制で行って頂いておりました。

人数的にどうかというところについては、たくさんいていただいたほうがよいと思いますが、なかなか人数を増やせないところもあり、現状いらっしゃる方で一生懸命活動していただいているところでもあります。

17ページのスクールソーシャルワーカーについても、専門的な業務ということで、なかなか人員確保というところでも難しいところではありますけれども、検討していきたいと考えております。以上です。

中屋敷教育長 支援員とか専門的な方はすごくたくさんいた方がいいというのはよくわかります。小林市は、図書にも支援員を雇用していますし、特別支援にも支援員を雇用しています。ソーシャルワーカーも、市町村で配置しているのは、宮崎市とか都城市はつけていますけれども、あまりいないです。でも小林市は1名配置しておりますので、そういう配慮はしているのですが、財源の関係もありますけど、教育委員会としては要望していきたいと思

ます。その通りになるかどうかわからないのですが、実態として、おっしゃるように、そういう人たちがいた方が、子どもたちがよりよく育つわけでありまして、それは要望していききたいと思います。

図書協力員の方々も半分ぐらい減ったのですが、これもいろいろありました。雇用できるかというのもありました。もう一つ、先生たちが支援員に頼ってしまうというのがあります。21校、どこの図書館もすごくいいですよ。入った時に読みたくなるようなディスプレイがしてあるところは小林市だけだと自負しています。

ところが先生たちが支援員にお任せになってしまっていて、そうではなくて、一緒にやらなくてはいけないのだというところを今言っているところです。だから、少なくなったものを先生たちが入ってくるような体制になるとより充実していくと思います。そう思って県の2名を指定で配置しています。充実するようには持っていきたいと思っています。これが増やせるかどうかはちょっと厳しいかと思いますが、要望はしていききたいと思います。

大部 菌教育長職務代理者 12ページですが、スキルアップ事業で、調査は5月もあったのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

根井 教育指導官 2年度は休校中でしたので実施しておりません。

大部 菌教育長職務代理者 わかりました。次に16ページです。生徒の相談件数もですけども、先生の相談件数も多いのだなと思ってびっくりしたのですけれども、教職員等への研修活動とあるのですが、これは定期的にやっているものなのでしょうか。わかればいいのですが。

園田 学校教育課長 今、具体的な内容を把握しておりません。

大部 菌教育長職務代理者 教職員の相談件数が多いのでびっくりしたところです。

中屋敷 教育長 スクールソーシャルワーカーが、生徒指導主事の研修会などに行って、具体的なものなど話をしています。

大部 菌教育長職務代理者 18ページの小児生活習慣病予防健診事業のところでの具体的な取組内容のところ、希望者のみ In Body 計測とありますが、初めて聞いたのですが、分かりやすく体成分分析装置という表記にしたかどうかと思いました。

園田学校教育課長 体成分分析装置という表記に変えたほうがいいでしょうか。

大部菌教育長職務代理者 変えたほうが分かりやすいかなと思います。

中屋敷教育長 検討をお願いします。

大部菌教育長職務代理者 29ページですが、家庭教育推進事業です。成果のところ
中止や延期と書いてあるのですが、この前に、新型コロナウイルス感染症の
影響によりとかの言葉を入れたほうが良いと思いました。

中屋敷教育長 そこは入れてください。

大部菌教育長職務代理者 33ページですが、成人式が中止になりましたけれども、これ
は出す時点で書き換えがあるのでしょうか。あと令和4年となっています
けれども令和3年ではないでしょうか。

谷山社会教育課長 令和3年の間違いです。修正します。

大部菌教育長職務代理者 評価書を出す時点で、これも中止になったとか書き入れるので
しょうか。

中屋敷教育長 これは令和2年の評価なのでこのままです。

大部菌教育長職務代理者 わかりました。34ページの人権教育推進事業ですが、教育集
会所で人権教育がいろいろ行われているようですが、これを見ると新型コ
ロナウィルスの影響がなかったように感じるのですが、計画どおり、講座
とかも影響はなかったのでしょうか。

谷山社会教育課長 人権学習については影響は特になかったです。施設等の閉鎖の時期が
ありましたので、施設には影響がありましたけれども、事業自体には影響
はなかったです。

大部菌教育長職務代理者 わかりました。48ページの食育実践推進事業が評価が3にな
っているのですけれども、もっと上げてもいいのではないかと思いました。

松元スポーツ振興課長 新型コロナの影響で、料理教室等の参加人数等が目標に届いてい
ないことなどを勘案して担当者としてはこのような評価にしたということ
でした。この事業自体は素晴らしい事業でよくできていると思っています。

大部菌教育長職務代理者 他の事業が中止とかなっていても4になっているので、この事
業だけ3にするのはどうかと思いました。

中屋敷教育長 検討してください。農家民泊とかができなかったのも考えての評価
だと思います。地井シェフの事業もなかなか思うようにできなかったのも、

そこも勘案して担当者が評価したのだと思います。

委員から4でもいいのではないかとのご意見がありましたので、検討してください。

大部 菌教育長職務代理者 49ページの農畜産物応援消費推進事業ですが、具体的な取組のところは成果だと思imasuので書き換えたほうがいいのではないかと思います。以上です

中屋敷教育長 検討してください。

榎委員 16ページですが、教職員の相談件数が私も気になりました。先生方の意識の持ち方によって相談へのつなぎ方が変わるということもあると思います。それから、今、保護者が学びすぎていて、反対に子ども達が大変な状況にあるのも現実です。講演会等を聞いたり、全国的な取り組みを見て、地方に合わないことを学校や先生に注文してくるということも聞いております。保護者どうして話をして、それが子どもに伝わって、先生に注文をつけるとかという話もあり、相談にくるというのもあると思います。志をもって先生になっても、教室の中の問題ではなくて、保護者との関係や、先生どうしの関係で悩んでいて相談にこられることもあります。事例として、悩んでやめたいと言っていた先生がしばらく休職して復帰して、元気に頑張っていらっしゃるという事例もあります。教職員の相談84人という数字は本当に重いものだと改めて感じました。

中屋敷教育長 ありがとうございます。相談体制ですね。それはこれから充実していかないといけないと思っています。最初に言いましたが、不登校の児童生徒が本当に増えています。先生たちも一生懸命やっているのですけれど。やっぱり家庭と学校と子どもが、うまく機能しないということです。そういうところもあるので、マッチングできるような相談体制ができるように、持っていきたいと思っています。そのためにはやっぱり福祉サイドとも連携しないと、入り込んでいかないとできないところもあります。ご意見ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

淵上委員 部長から評価の方法とかについては、見直しをされているという説明があったのですが、実際、見る人によって3なのか、4なのかというはあると

思います。見直しの際に参考にして頂ければと思うのが、できれば、この中で新規事業とか、今年限り等の事業もあったりするのかなと思います。だから、我々が見て皆さんが評価されたのをみて意見をやるもの難しいと思います。見て勉強になると思うのが、新規事業がこれですとか今年度の目玉はこれですとかがあるとよりわかりやすい、より見やすいかなと思います。

中屋敷教育長 はい。ありがとうございます。ご意見として賜りたいと思います。

大部 菌教育長職務代理者 47ページの学校給食センター管理事業ですが、地産地消の46.78%はすごいと思います。これは素晴らしいと思いました。

松元スポーツ振興課長 東方学校給食センターに地産地消推進員を配置しまして、その方の努力が大きいのですが、関係者等と調整しながら小林市内の食材を多く取り入れてくださっています。

大部 菌教育長職務代理者 素晴らしい取り組みだと思います。全国的にもこんなに高いところは無いのではないのでしょうか。50%近くになる勢いなので素晴らしいと思いました。あと、コロナ禍でいろいろな事業が延期になったり中止になったりしましたので、社会教育講座などが今後もコロナの状況が見通せないので、講座を例年通りするのではなくて、コロナ禍を見据えて、例えばリモートでできないかなど、課題の所に今後は感染防止対策を考えて実施しなければいけないとかを書き入れたらいいかなと思いました。

中屋敷教育長 検討して下さい。よろしいでしょうか。それではお諮りしたいと思います。議案第35号についてはいろいろとご意見等もありましたので、それを事務局の方で検討して修正、改善していくということで、承認していただけますでしょうか。(はい。)

ありがとうございます。それでは、承認されました。

続きまして、議案第36号、市民スポーツ祭「こばやし大運動会」の見直し(リニューアル)について、説明をお願いします。

松元スポーツ振興課長 7ページ、議案第36号になります。説明資料は8ページからになります。市民スポーツ祭「こばやし大運動会」の見直し(リニューアル)について同意を求めるものになります。

現状についてですが、市民スポーツ祭「こばやし大運動会」は、平成29

年度に第50回大会を実施して以降、台風接近や新型コロナウイルス感染症の影響により今年度を含め4年連続中止となっております。この間を含めここ数年間、市民より、区長、特に組長等に大きな負担がかかっている地域があるということ、校区の規模に大きな差があることなどから、こばやし大運動会のあり方について見直しを検討してほしいとの意見が多数寄せられております。私は4月に異動できたのですけれども、それからいろいろな方からご意見を頂いております。

内容としては、従来どおりの校区対抗型でのこばやし大運動会は終了してほしいとの意見が多く聞かれました。一方で一部では、校区対抗型でないと盛り上がらない、伝統が崩れるなどの意見もある状況にあります。

このため、見直しの検討が必要な状況にあったのですが、市民ニーズの把握といったところが不足していると考えまして、その根拠となる市民ニーズを把握するために、コロナ禍でできることとして、今年の4月に全区長あてにアンケートを実施しました。アンケートの趣旨ですが、従来どおりの校区対抗型の継続を希望するか、又は見直し（リニューアル）を希望するかに主眼を置いたものであります。

その結果、57区があるのですが、従来どおりの校区対抗型での継続を希望する区は約3割ありました。希望しない区は約7割でありました。これを小学校区単位で見ると、従来どおりの校区対抗型での継続を希望する区の数、その校区内で過半数となった校区は、全12校区中1校区のみでありました。

一方でリニューアルしてほしいという意見の中で、見直しを行っても、何らかのスポーツ・健幸イベントについては、開催を希望する区が大多数であるという結果でありました。

そこで3番、見直しの必要性についてですが、上記の市民ニーズを踏まえると、従来どおりの校区対抗型での開催は、時代の流れなどにより市民に喜ばれるイベントとはなっていない状況であります。したがって抜本的な見直しの時期にきており、少し補足すると、いくつかの組では組長の負担が大きい組もありまして、逆にそれが組長になりたくない、自治会をやめるといった話にまでなっている組もありました。このような状況も踏まえ

まして見直しの時期にきているということです。

また、近年では、まちづくり協議会などで独自の趣向を凝らした運動会も一部行われるようになっております。スポーツ・健幸イベントに求めるニーズは「競争と交流」から「楽しさと交流」へと変わってきていると思われれます。

9ページになります。小林市スポーツ推進計画では、市民スポーツ祭が各競技団体による競技大会、こばやし大運動会、こばやし駅伝競走大会の3つなのですが、市民総参加のスポーツイベントとして位置付け、市民のニーズに合った内容とし実施することで、スポーツをより身近に感じ生涯にわたりスポーツに親しむ気運を醸成し生涯スポーツの推進を図ることとなっており、その都度市民のニーズに合っているかが大事となっています。このため、こばやし大運動会については、市民ニーズに沿って、多くの市民が自由に参加できる「スポーツを楽しめるイベント」として、目的である生涯スポーツの推進につながっていくよう見直していく必要があるのではないかとということです。

以上のことから、事務局で案を作成し12の小学校区で構成する市民スポーツ祭実行委員会に提案することとしました。

1点目が従来どおりの校区対抗型のこばやし大運動会は、すでに実施済みの第50回大会をもって終了する。2点目が「市民スポーツ祭」の冠は維持し、健幸のまちづくりの根源となる「元気と笑顔」をテーマとして、市民ニーズに沿った自由参加方式かつ負担のかからない半日程度の「さわやかにスポーツを楽しむ」イベントとして再スタートする。会場は陸上競技場を活用するということを提案したところです。

第1回実行委員会を6月17日に開催しました。その冒頭で、イベントの特性からソーシャルディスタンスを保ち、マスクをつけて開催することは困難なイベントであることを踏まえ、今年度は中止とすることを全会一致で決定したところです。

その上で、来年度以降のこばやし大運動会の見直し（リニューアル）について下記のとおり提案しました。1点目が校区対抗型は終了する。（リニューアルする）2点目が「元気と笑顔」をテーマとして、自由参加方式の団

技を中心とした運動会など「さわやかにスポーツを楽しむ」スポーツ・健康イベントとして再スタートするというところで提案したところです。

その結果、その場で賛同頂いた区もありましたが、出席者が区の代表者という区もあったことから、各校区に持ち帰って協議し、賛同するかどうかを後日回答したいということでした。

5番、各校区からの回答や意見・要望等ということで、ほとんどの校区から了承、賛同をいただいたのですが、12校区中2校区については、いままでの継続がいいということでご意見をいただきました。ただ、その2校区については、説明不足もあったため、再度趣旨を説明させていただいて、この2校区についても了承、賛同をいただきました。

各校区からの主な意見・要望等がいくつか上がっております。職場、団体、地域等自由なチーム編成でいいが、各地域からもバランス良くチームが出る形にした方が盛り上がるのでは。年代別を無くし、フリーにして誰でも参加できる団技がよい。小・中学生の競技は入れてほしい。これは大多数でした。10月は台風が多いので11月はどうか。スポーツクイズや抽選会も入れてはどうか。結構こだわりがあった部分が次なのですが、名称が変わったとしても第51回として、これまでの50回の歴史を継承すべきである。小林高校駅伝部模範走や秀峰高校新体操演舞など継続できないか。女性だけの種目も設定してみてもいい。健康づくりを全面に出して健康イベントとして継続してほしい。半日程度なので最後まで参加していただく工夫をしてほしいという意見がありました。

これを踏まえて、第2回実行委員会開催前にリニューアルイメージを示さないイメージが付きにくいと考えまして、意見を盛り込んで11ページのリニューアルイメージを作成しました。名称については仮称ですが、市民スポーツ祭第51回 健幸こばやし大運動会、そしてスポーツレクレーション的な意味合いを持たせるためにスポレク2022としております。

テーマは、元気と笑顔の創出。スポーツを楽しむ。健幸のまちづくりへつなげる。内容は、団技、スポーツレクレーションを中心とし、スポーツクイズなども盛り込み笑顔あふれるイベントを検討する。地域、職場、団体など任意のチームで自由参加方式、例えば1チーム20人から30人程度

で30チーム程度募集のようなイメージで検討する。このイメージ図の陸上競技場をイメージした部分の中に参加チームイメージとあるのですが、これまでどおり区で出たいという区もありますし、今、それぞれまちづくり協議会などがありますのでそこで参加したり、市役所やJA、その他事業所で参加したりとか、参加チームは自由に任意で作ってというように自由参加方式を考えております。

多様な主体の参加を呼びかけ、子どもから高齢者が集えるスポーツ祭とする。半日程度のイベントで検討する。参加したい種目のみ参加ということで種目別優勝と総合優勝等の表彰は行うとし、参加自由度を高める。

小・中学生を対象としたリレー等の種目も別途設定する。協賛も募集し、賞品、参加賞等用意する。会場で昼食お弁当やキッチンカーなどをとっていただき交流を深める。小林高校駅伝部模範走など市民から継続要望の多いものは継続できるよう検討する。時期についても、10月中旬～11月の上旬くらいの開催を視野に検討する。

数年間は改善を図りながら内容を検討しアレンジしていく。ウォーキングクラブ主催のウォーキング大会との同時開催なども検討するなどのイメージとなっております。

10ページに戻ってください。6番です。第2回実行委員会を7月20日に開催しました。先ほど説明しましたイメージを持って見直し（リニューアル）を行うことを改めて提案したところ、全会一致で了承、賛同をいただきました。

それを踏まえまして、新しいイメージが構築できているわけではないのですが、7番、こばやし大運動会の見直し（リニューアル）案についてです。同意をいただきたいところです。

① 従来どおりの校区対抗型のこばやし大運動会は、すでに実施済みの第50回大会をもって終了する。②別添リニューアルイメージを持って、健幸のまちづくりの根源となる「元気と笑顔の創出」をテーマとし、多くの市民が自由に参加できる「さわやかにスポーツを楽しむ」スポーツ・健幸イベントとして再構築する。③これまでの50回の歴史を引き継ぎ、新たな形で令和4年度から実施するということでもあります。

承認して頂ければ、今後のスケジュールですが、9月22日に行政経営会議へ報告を行い、議会の全員協議会にて報告した後、イベントの詳細な構築は、概要構築を予算要求までに行い、詳細構築を3月末まで、来年度の早い段階で市民の皆様へ新しい形でのお知らせ、参加チーム募集等を行っていきたいと考えております。以上です。

中屋敷教育長 7番のところですね。7番の①、②、③について承認をいただきたいという提案でございます。ご意見があったらお願いします。

大部菌教育長職務代理者 50回続いた運動会が終わるということで大変残念です。私は参加者として参加していました。いろいろなご意見があることも承知しておりましたので、リニューアルする時期に来てるなと思いました。内容を聞いて大変いい内容になっているので、今の時代にあった大会になればと思います。

それでこの11ページにあります、子どもから高齢者が集えるスポーツ祭、多様な年齢や目的に合わせて、スポーツやレクレーション活動に親しめる機会、継続して生活の中に運動を取り入れるような大会になればいいかなと思います。

槇委員 私も寂しい気持ちを感じますけれども、昔と違って好きな人だけがやっている等の意見も聞こえていましたので、見直すいい時期と思います。

スポーツとお祭りが一緒になるようなイメージでしょうか。それとも、スポーツをしっかりやるイメージでしょうか。このお弁当やキッチンカーを見たときに、お祭りの要素も含まれているのかなと感じました。

松元スポーツ振興課長 あくまでもまだイメージの段階です。今後、実行委員会を開催し、全校区からアイデアを集めるようになっていきますので、今後構築していきたいと考えております。イメージとしては、誰でも気軽に参加して頂けるイベントにしていきたいと考えております。

槇委員 時期について、農畜産業に関わることなので選定も難しいと思います。

松元スポーツ振興課長 時期については、農繁期等のこともありますので、できるだけ遅い時期のほうが良いと考えております。11月上旬であれば、総合文化祭との絡みもあるのですが、大丈夫かなと思っております。逆に駅伝競争大会まで運動会からつなげていけば、スポーツ月間のようにいろいろなこと

ができると考えております。

楨委員 市民体育大会はふるさとを思い出されるイベントだと思います。学校単位で実施されるということもそうなのですが、みんなで小林市民歌を歌っていたんですけれども、「湧き上がる雲、雲、雲」と霧島の裾野にひろがるこばやしといった文言が入っていました。上京した方々が「市民歌を市民体育大会で歌っていたよね。」と、すごく懐かしさを感じていらっしゃると思いました。そういったふるさとを思い出されるようなこともあったらいいかなと思いました。

中屋敷教育長 いろいろなご意見を取り入れてリニューアルして頂ければと思います。それでは、お諮りしたいと思います。

議案第36号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。(はい) ありがとうございました。

次回開催予定をお願いします。

今西調製職員 次回、令和3年9月22日水曜日、午後3時30分から市役所3階第3会議室で開催したいと思います。

中屋敷教育長 それでは、以上をもちまして、第10回定例会を終わりたいと思います。お疲れさまでした。

閉会 17:00

教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員

調製職員